

## 2023. 4 月のブルーベリー農園その 2

4 月 9.10.11 日と 3 日間連続して東広島市豊栄町のブルーベリー農園に安芸区の自宅から農作業に行った。農園では 10 日.11 日と風が強く吹いた。そのためこれまで敷いていたブルーベリー畑の防草シートのめくれを直したりした。農園の周囲の田んぼではトラクターが行きかい田の土越しのエンジン音が響いて農家の人たちの動きが伝わってくる。



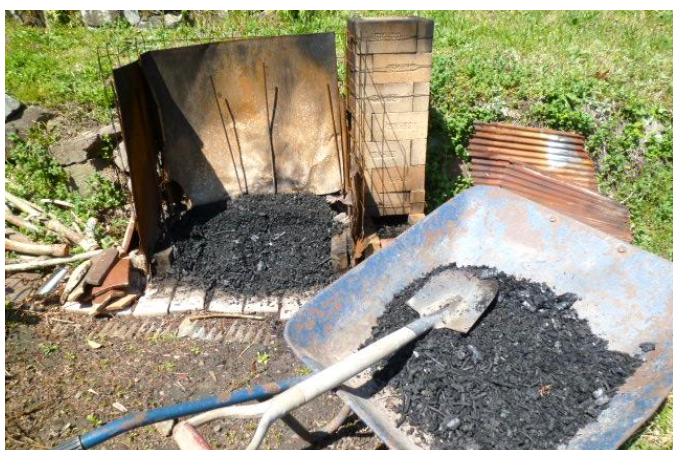
4 月 9 日 (日)

ブルーベリー畑の地面には雑草の中にいろいろな花が咲くが、来るたびに花開く様子が変わる。この日はスミレがたくさん咲いている。



4 月 10 日 (月)

野焼きの場所の上の畑は里山にあるブルーベリー園の入り口でもある。伸びてきた草を刈る。



農園に着いたら野焼きで出た灰や炭を片づけて、次の野焼きに備える。取り出した灰や炭は農園のブルーベリーの木と木の間にはばまいておく。



農園の花壇や農道にムスカリが青い顔を出している。



ブルーベリーの剪定と、剪定した枝の片づけ作業がつづく。枝の片付けも拾って集めて野焼きの場所まで運ぶので体力を使う。



4 月 11 日 (火)

里山のブルーベリー園の見回り

① 早生のブルーベリーの木の根元に丸くなった木くずが 2 か所から出ている。穴の開いた根元から殺虫剤を入れて中にある虫の駆除をする。



② 山ツツジが1本立ちで満開。



③ エビネの花軸から蕾が伸びてきた。



④ 畑に大根の花とホトケノザの花が咲く。右隅にソラマメがいい具合に育っている。



この日は一人で農作業をした。畑に防草シートを敷く作業を続けた。終日風が強く吹いたので野焼きは自重した。



その畑に咲く夕闇の中のレンゲ。防草シートをかぶせるのがちょっとためられる。

2023年3月15日  
社会福祉法人安芸の郷  
理事長 遊川和良

《2023年4月15日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

